

JAしまねびより

2018

8

August Vol.29

特集 島根のいいもの再発見!! 「斐川町 タマネギ」 斐川地区本部





島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【斐川町 タマネギ】

8月は、斐川地区本部。出雲市斐川町で、タマネギの生産に取り組む、常松種苗(株)の常松信光社長にお話をお伺いしてきました。



お話をお伺いした常松信光社長

タマネギの生産をはじめてどのくらいになりますか？

先代の父親の時代からタマネギを栽培しています。平成23年に法人化し、種苗事業とタマネギ栽培を中心に農業を営んでいます。私自身は会社勤めを経て、農業に携わって15年になります。苗部会の一員としてタマネギをはじめトマトやスイカ、ナスビ、キュウリなどの種苗事業を行なっていく中で、おかげさまで、部会員として苗の品質は高い評価を頂いています。斐川町管内では、盛んにタマネギが栽培されていましたが、近年は生産者が減少、出荷量も減りつつあります。そうした中で、タマネギの生産を徐々に



簸川平野に広がるタマネギの圃場。

拡大、現在は3・8ヘクタールの面積で栽培しています。

年間の栽培(事業)スケジュールはどのようなものですか？

種苗店から苗部会に注文を受け、ナスビやキュウリ、トマトなどの苗を4月頃まで作り、5月をめどに出荷します。タマネギは9月に種を播いて10〜11月に苗を販売。自社での栽培は11月初旬に定植し、年が明けた5月下旬頃から6月にかけて、葉が倒れ始めたら収穫の合図、土から抜いていきます。その後7月に入ると、タマネギ苗を作るための土壌消毒など、管理を行い、一年を通して、なるべく効率よく



今年のタマネギは出来が良く、収穫量もいつも以上！

作業するよう心掛けています。

タマネギの栽培で感じる 事や、大変なことなどお りますか？

露地の色々な野菜と同じだ
と思います。天候や病気には
細心の注意を払っています。
特にべト病が厄介で、病
気が蔓延しないように管理を
徹底しています。また今年の
2月、急激に冷え込んだ影響
で早生（わせ）品種のタマネ
ギの生育が遅れました。毎年、
色々なケースが出現し、試行
錯誤しています。自分のイ
メージ通りにはいかず何が正
解か、さっぱりわからない事
も多々あります。ただ、失敗
を糧に、困難に立ち向かって



出荷作業は機械選別を導入し、効率があ
がったとはいえ、細々とした手作業や人の
目がもちろん重要で、一番手のかかる作業。



余分な茎と根を切り落とす作業は、タマネギ
を長持ちさせるためにも、とても大事。

いく事が農業の面白みでもあ
ると感じています。去年は初
めて、モチ米を栽培している
圃場約1ヘクタールの裏作と
してタマネギを定植し、無事、
収穫することができました。

タマネギの出荷には、選別
機を使いSから2Lサイズに
分別して出荷します。作業量
が多く、収穫したタマネギの
先端、余分な茎部分と根を、
ハサミを使い1個1個手作業
で切ります。みかんの選別機
を応用した穴にタマネギを通
して大きさを選別。この一連
の作業をパート従業員7〜8
人で行っています。適度な大
きさや長さになった苗を品種
ごとに100本単位、ワラで
結んで出荷します。多い時で
20万本位出荷します。すべて
手作業なので、労力をとても
要します。

タマネギは大小あります が、大きさによって味の 違いなどあるのですか？

大きさによる味の違いは特
にないと思います。多くのご
家庭でタマネギは身近な野菜
で、色々な食べ方があると思
いますが、焼く・煮込むこと
で、タマネギ本来の美味しさ
を楽しむことができます。大
きさによっての味の違いは大
差ないものの、早生（わせ）
のタマネギは一般的に甘みが
あり、柔らかいとされ、奥手
はよりシャキシャキ感を堪能
することができます。また、
現在栽培しているタマネギは
加工用として多く出荷してお
り、なるべく大きくするよう
にしています。

今後の抱負や展望を聞か せてください。

法人としてタマネギ生産に
携わる上で、従業員の存在が
あってはじめて、事業として
成り立つので、従業員を第一
に考えています。収穫や出荷
時など大事な時期に人手がい
ないと後手後手になり計画通
りにいかなくなりません。従業
員を第一に考え、ちよつと空
いた時間や、土日のみの勤務



出荷作業には多くの人手を要し、その人
手を確保することが経営の鍵を握るという。

など、個人の生活スタイルに
合わせて働いてもらえるよう
努めています。遠方から出勤
する従業員もおり、ありがた
い限りです。みんなが和気あ
いあいとしながらも、真剣に
作業する姿は心強いです。少
子高齢化でタマネギを作る人
は少なくなってきましたが、食
卓には必要不可欠なものが、
食卓には必要不可欠なものが、
今後も美味しいタマネギを
作り続けて行きたいと考えて
います。



常松社長の笑顔に、今後の農業経営の
変化やあり方を見せられたような気がする。

タマネギ 一口メモ

斐川町では、以前はタマネギ栽培をする人がたくさんおり、野菜部会も概ね200人の会員がいたが、現在は数十人の規模まで縮小した。タマネギは価格の変動が比較的大きいとされ、輸入品も台頭してきたことから、徐々にタマネギの生産が減少してきた。そこで常松さんは機械化を進め、加工用としての出荷を強化、出東地区では最大規模でタマネギを生産している。規格外のタマネギは社会福祉施設に無料で譲渡するなど、社会貢献も定期的に行っており、斐川町産のタマネギが途絶えないよう使命感を持って生産している。



／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

島根米の安定的取引拡大と販売拡大に向けた取り組み

需要や引き合いの強い米の生産、販売をすすめることで、長期安定的な販売が確保でき、稲作経営の安定・維持につなげることができることから、JAしまねは販売先卸と事前契約（収穫前契約・複数年契約）の締結に積極的に取り組んでいます。

販売先卸を通じて量販店や中食・外食等の実需者と産地の間で安定取引を拡大していくとともに、産地と実需者との結びつきによる「顔の見える販売」の強化につなげていきます。30年産島根米では事前契約をJA集荷目標値の80%にあたる34,000トンを目指し契約推進を行っているところです。

また、販売先卸ならびに実需者からは、特に「きぬむすめ」と「つや姫」に対しての要望数量（引き合い）が高く、今後ますますの作付拡大が求められています。

一層の生産、販売拡大につなげるべく、販売促進活動にも力を入れており、沖縄県での販売促進活動を4年前から実施するなど、「島根県産つや姫」は認知度を含め定着しています。また、県内においては島根米の販売促進、消費拡大に向けて広告宣伝・PR対策の強化に努めています。



<沖縄県におけるつや姫の販売促進活動>



<きぬむすめのテレビCM>

島根米生産者の皆さまへ

JAしまねでは、「農業者の所得増大」を最大目的として、JAに出荷をいただく島根米生産者の皆様からの30年産米の買取手法について以下のとおり実施させていただきます。

1. 出荷時の「仮単価」と、12月の「追加金」の2段階によるお支払いをいたします。なお、お支払いの考え方は29年産と同様とします。

8月以降12月にかけて、全国の作付状況や作況、また収穫量が公表され、これらの状況をふまえた需給見通しなどにより販売価格も左右されます。このことから、より精度の高い買取金をご提示するために2段階によるお支払いにより、生産者の皆さまの所得向上と計画的な営農を支援します。

2. さらに、精算可能財源が生じれば、翌年11月を目途に最終精算金をお支払いします。

これからも、結びつきの強い「島根米」の販売を通じて、高評価の確立を目指してまいりますので、30年産米も1袋でも多くJAへ出荷いただきますようお願い申し上げます。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

農事組合法人 サンライズうづか

組合長 向山 剛之

海士町の農事組合法人『サンライズうづか』では現在主食用米17ha、WCS（稲発酵粗飼料）用稲2.5haを栽培し水稻中心の経営を行っております。平成19年に経営面積10haでスタートし、現在の組合員数は13名です。耕作放棄地をなくし農地を維持する、地域の発展に貢献するなど地域農業を守るということを基本方針にしています。



JAしまねの農業振興支援事業を活用し平成28年にコンバイン、29年に大型の田植機を導入し、経営規模の拡大、作業効率の向上をすすめ、販売額も1,700万円と順調に実績を伸ばしています。また安心・安全・美味しい農産物を消費者に提供するため「美味しまね認証」の取得に向けた取り組みも始めています。

近年は異常気象・農業者の高齢化・担い手不足など農業を取り巻く環境はとても厳しい状況におかれています。マイナス面ばかりが目立つ時代だからこそ農業振興のチャンスと捉え、JAしまねと共に奮起し魅力ある事業活動ができるよう汗を流してまいりたいと思います。そして我々の取り組みに少しでも共感していただき、新規就農される若者が増える事を心より期待しております。

理事会情報（6月29日開催）

協議事項

- ① 農業所得増大・地域活性化応援プログラム「平成30年度県域企画応援事業計画」及び各要領の設定について
- ② 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ③ 第4事業年度業務報告書について
- ④ デイスクロージャー誌2018について
- ⑤ 運営体制改革にかかる今後の進め方について
- ⑥ 理事の個別役員報酬額の決定について

報告事項

- ① 平成30年度JAしまね農業振興支援事業第1回（6月）申請について
- ② 「摘果メロン」に対する農業誤使用について
- ③ 米穀園芸情勢について
- ④ 畜産情勢について
- ⑤ 平成30年度第2四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
- ⑥ 平成29年度防犯カメラ寄贈について
- ⑦ 平成29年度カーブミラー寄贈について
- ⑧ 組合と理事との取引（契約）の報告について
- ⑨ 未収金等の債権の償却について
- ⑩ 個人情報法の法違反又は法違反のおそれのある事案に関する報告書の提出について
- ⑪ 平成30年5月末主要実績について
- ⑫ 平成30年5月末月次決算について
- ⑬ 旧松江JA会館跡地の活用について
- ⑭ 就業規則制裁条項の適用について
- その他① 農政をめぐる情勢について
- その他② 青年・女性理事活動報告等
- その他③ 全農低価格モデルトラクターの機種決定について

雲南

「おもてなしプロジェクト」 JA自己改革を応援！

JAしまね雲南女性部は、今年度の統一行動として「おもてなしプロジェクト」と名付けたJA支店の美化活動を始めました。JA自己改革の後押しとなるよう「自分たちのJAを自分たちで守る」という意識を女性部員で共有するために、高橋美佐子部長が提案しました。高橋部長は「JAは自己改革の正念場を迎えている。JAをよりどころとしている私たちは大きなことはできないが、一緒に歩みを進めていく姿勢をアピールしたい」と思いを話します。

女性部雲南吉田支部は、植え込み花壇の剪定や入口付近の清掃。大東支部と加茂支部は、玄関周りを花で飾りました。参加した部員は「訪れた方々が、きれいな花で和んでもらえれば嬉しい。小さな活動だが、自己改革への大きな一歩だと感じた」と話します。

大東支店の糸原支店長は「ありがたいの一言。JAグループも自己改革の取り組みを加速しているが、私たちには強力な応援団がいることを実感した」と感謝を述べました。



支店職員と協力し「みどりのカーテン」やプランターを準備しました

隠岐

JAカップ学童野球 松江・隠岐地区予選

JAカップ第35回島根県学童軟式野球選手権大会の松江・隠岐地区予選が7月14日から3日間、松江市鹿島町の深田運動公園野球場など4会場で行われました。24チームが出場し、隠岐からは、都万レッドスターズ・五箇ミラクルズ・西郷ファイターズの3チームが参加いたしました。

大会前日には、隠岐汽船ターミナル内において壮行式が開催され、佐々木賢治本部長が「健闘を祈ります」と各チームを激励しました。

隠岐の島町では島内の子供が減少し、野球チームの維持も困難になってきている中で各チームとも健闘しました。優勝は城西レッドスターズで、8月18日・19日の両日、松江市営球場で開催される県大会へ出場いたします。



くにびき

くにびき女性部が最優秀賞！ 中四国地区JA女性組織リーダー活動発表

くにびき女性部の諏訪智子さん（津田支部）が7月5日、米子市で開催された2018年度中四国地区JA女性組織リーダー研修会の「組織体験活動発表」に、島根県代表として出場し、最優秀賞に輝きました。

研修会は5日・6日の2日間行われ、9県のJA女性部員約250人が参加し、会員相互の交流を深めました。

当日は、各県の代表が自組織の活動について発表。諏訪さんは「食で繋（つな）がる縁・笑顔が広がる女性部の輪」と題し、郷土食材を使った料理教室や裏方として料理を提供した婚活イベントなど、女性部が関わった、さまざまな活動をユーモアを交え紹介しました。

審査員からは「とても力強く、表現力もすばらしかった。今後、さらに地域を活性化してくれるだろうと期待が持てる発表だった」と講評。諏訪さんは「名前を呼ばれた時は、びっくりした。女性部みんなの活動の賜物。JA全国女性大会でもしっかりPRしたい」と喜びと抱負を語りました。

来年1月のJA全国女性大会に諏訪さんは、中四国代表として出場します。



やすぎ

大型特殊免許(農耕車限定) 取得講習会開催

やすぎ地区本部は6月27日・28日の2日間、安来市穂日島町のやすぎ担い手支援センターで、大型特殊免許（農耕車限定）の取得に向けた講習会を開催しました。市内の営農組合や新規就農者など総勢10人に受講いただき、基本操作の確認や試験のポイントなどを学びました。

この講習会は、近年、営農組合や大規模農家において大型機械の導入が増加する中、免許を取得し安全に使用してほしいとの思いから毎年開催しています。講師は免許を持つJAの職員が主となり、受講者は交通ルールなどの座学講座を2時間程度受けた後、敷地内で実際に大型トラクターを運転し、走行確認や方向変換などの練習を行いました。

JAの職員は「試験に受かることも大切だが、安全に使用してもらうことを第一に免許取得の推進に力を入れています」と話しています。



斐川

はとむぎの魅力伝える

はとむぎ茶を中心とした関連商品を開発・販売しているJAしまね斐川地区本部よい食工房は、はとむぎの魅力地域の人たちに広く知ってもらい地産池消につなげようと、はとむぎ料理講習会を同地区本部のあぐりキッチンふぁみーゆで開催しました。講習会には、町内外から約30人にご参加いただきました。講師にはマクロビオティックを実践している郷土マクロビアン岡里美さんを招き、「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して、「はとむぎ冷やし坦々うどん」「はとむぎ入りポテトサラダ」など計4品を紹介しました。岡さんに手ほどきを受けながら調理をして、完成したあとはみんなで味わいました。岡さんは「料理を通じてマクロビオティックを楽しんでもらうことが一番の喜びです」と話し、参加者からは「いろいろな加工品があり様々な食べ方ができアレンジしやすいのも魅力」と感想が寄せられ、講習会は大盛況となりました。



隠岐 どうぜん

西ノ島町畜産振興施設が完成 家畜市場を開催

6月26日(火)浦郷市場(旧浦郷農協管内)老朽化に伴い建設が進められていた「西ノ島町畜産振興施設(旧黒木農協管内、美田船越)が完成しました。西ノ島町主催の竣工式が施設のお披露目を兼ねて行われ、当地区本部もJA農産加工場にて製造した紅白餅でもち投げをしました。

この西ノ島町畜産振興施設は、穏やかな美田湾の海岸道路沿いに立地しており、誘導レー尔付家畜市場セリ場、郡内家畜集出荷施設、飼料倉庫、糞尿処理施設、畜産研修施設が配置されています。当地区本部ではこの機能を余すところなく活用し、今後畜産業が地域の旗手となるよう取組んでまいります。また、7月5日(木)には同施設初の西ノ島家畜市場が開催されました。子牛119頭・成牛10頭の上場があり、畜産農家をはじめ関係者の方々にご協力いただき無事にセリ終えることができました。



石見銀山

職員海岸清掃ボランティア

大田市の各種団体で構成する「大田市海岸を美しくする活動実行委員会」は7月15日、同市久手町の「迫海岸」の清掃作業を行いました。実行委員会の一員である石見銀山地区本部からは、39名の職員が参加しました。

同実行委員会は、毎年海水浴のシーズンになると市内の関係機関、市民へ海岸清掃ボランティアへの参加を呼びかけ、海岸のごみ拾いをしています。参加者が一斉に清掃することで、生活環境の保全や海洋環境の保全の意識を高めることを目的としており、今年で15回目を迎えます。

当日は早朝から多くの構成団体が集まり、炎天下の中、海岸清掃を行いました。



迫海岸のごみ拾いをする職員

出雲

県版GAP「美味しまね認証」 認証産品を生産者がPR

ラピタ本店で7月17日から22日の6日間、島根県版の農業生産工程管理(GAP)制度「美味(おい)しまね認証」の認証産品のフェアを開きました。17日と21日は菌床しいたけ、アスパラガスの生産者らが店頭立ち、試食販売で消費者と交流しました。

販売したのは菌床生しいたけ、アスパラガス、青ネギ、「こめたまご」の4産品。試食には全ての産品を使ったオムレツを用意しました。会場には「美味しまね認証」の詳しい説明を掲示し、安全性と優れた品質が認められた産品であることをPR。来場者は「今まで意識したことがない制度でしたが、話を聞いて初めて分かりました」と話しました。

(有)旭養鶏舎、(有)福田ファームの「こめたまご」、JAしまねエコネギ研究会県認証グループの青ネギは、平成21年に認証を取得。JAしまね出雲しいたけ部会が生産する菌床生しいたけ、JAしまね出雲アスパラガス部会美味しまね認証グループが生産するアスパラガスは、今年3月に取得しました。安全・安心を目に見える形でPRしていきます。



販売した4産品

西いわみ

「おいしい」を届けます。 益田産アールスメロン初出荷

JAしまね益田メロン部会（部会長松本哲夫）は7月4日、夏の贈答需要期に向けたメロン「アールス」の出荷を始めました。

同部会では「アールス」の出荷時期を7月出荷の夏作と10月出荷の秋作に分けて栽培しています。

当日は、5戸の生産者が48個のコンテナを持ち込みました。出荷に先立って選果スタッフや部会員らが立ち会い、品質を確認しました。

JAでは夏作「アールス」の出荷目標を13,000ケース、約104トンと見込んでおり、京阪神市場や県内各市場に夏の味覚を届けます。



本店

アグリミーティング2018 最新技術や作業服を紹介

7月7、8日の両日、松江市くにびきメッセでアグリミーティング2018と第8回農機総合展示会を開催し、県内各地から担い手の皆様をはじめとした2,111名にご来場いただきました。会場ではスマート農業ブースや各種相談ブースをはじめ、セミナー、農機展示など、担い手のニーズに沿ったものを多数取り揃え、最新情報を提供しました。農作業服を提案するファッションショーでモデルを務めたのは、各地区本部管内の担い手のみなさんです。特別ゲストとして竹下組合長とJA女性部の長島部長が登場するなど、会場は大変盛り上がりしました。当日は島根大産直市も開催し、出雲農林高校の生徒さんや地区本部などが、新鮮な野菜や農産加工品を販売しました。



気分はパコレモデル
竹下組合長と出雲農林高校の生徒さん

島根おおち

都賀小水力発電所始動

島根おおち地区本部が保有している、都賀小水力発電所が改修工事を終え、7月13日に竣工式をとり行いました。

都賀発電所は、江の川水系塩谷川の豊富な水資源を活かし、農業の近代化に伴う電力需要の増大に呼応するため、昭和38年に建設されましたが、およそ半世紀に渡る稼働で老朽化が進んだため、再生可能エネルギー特別措置法の法改正を転機と捉え、同法に基づく電力の固定価格買取制度（FIT）を利用し、29年度より大規模改修工事に着手しました。

改修後の新たな施設では、年間145万kwh（キロワットアワー）の売電を予定しており、安全なクリーンエネルギーの活用・確保に向けた取り組みをすすめ、地域の水資源を活かした小水力発電所を後世に引き継ぎます。島根おおち地区本部では、都賀小水力発電所の他、角谷小水力発電所も保有しており、10月竣工予定としております。

改修工事にあたり、地元の皆様のご理解とご協力を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。



いわみ中央

みんなで取り組もう！ 日差しを遮るみどりのカーテン

JAしまねいわみ中央地区本部は、JAしまねとJAしまね女性部の統一行動『みどりのカーテン』の実施にともない、5月から6月にかけて各支店でゴーヤやアサガオ、ふうせんかずらなどの苗をプランターに植えました。暑い日差しをさえぎるみどりのカーテンが、今では窓を覆うくらいにまでなりました。これからも支店の職員で水やりなどをしながら育てていきます。支店だけでなく、JA女性部のそれぞれの家庭においてもみどりのカーテンを実施しています。今年は特に猛暑が続き、このみどりのカーテンが大活躍してくれることでしょう！



タテのカギ



- ①電流を流したり切ったりする装置
- ④深谷、下仁田、九条といえば
- ⑥膝より下、くるぶしより上
- ⑦野山を耕して畑にすること
- ⑨鉄棒や跳び箱を使って行う一体操
- ⑪木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
- ⑬体の90%以上が水分だという、水にすむ生き物
- ⑮年下の女きょうだい
- ⑰田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- ⑲あ、おいしそう。ひと——ちょうだい!
- ⑳カイコの繭から作ります

ヨコのカギ



- ①十五夜に飾る植物
- ②米の収穫作業の一つ
- ③エレベーターの表示では「B」
- ④よく飼われているペットなんだニャ
- ⑤石原裕次郎と牧村旬子のデュエット曲「——の恋の物語」
- ⑧——足りて礼節を知る
- ⑩和風の携帯薬入れ。黄門様のドラマでおなじみです
- ⑫恋愛運や金運などを見てもらいます
- ⑬カラオケ店で離さない人もいます
- ⑮招く人がホストなら、招かれる人は
- ⑰月の模様はウサギがこれをついているように見えるとか
- ⑱佐渡島に保護センターがある鳥

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	6	9		13	16	20
2			11		17	
		10				
3	7				18	21
	8			14		
4			12		19	
5				15		

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成30年9月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ナツマツリ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

胸部CT検診を受けてみませんか?

- 家族に喫煙者がいる方
- 家族にがん歴のある方
- 家族・親戚に肺の疾患がある方
- 40歳以上の方
- 咳、痰などが続く方
- 喫煙者、喫煙歴がある方

特に検診をお勧めする方

- がん発見率が高い（胸部X線検査の約10倍）
- 微細ながんを発見できる（5mm程度まで発見可能）
- CTで発見された肺がんは早期の比率が高く、その治療成績も良好
- 喫煙による肺へのダメージがはっきりと描出される
- 一般診療に比べ低線量被曝
- 短い検査時間（5分程度）

胸部CT検診の特徴

日本人の死亡原因の第1位はがんで、その中で最も多いのが肺がんです。肺がんは早期ではほぼ無症状で、症状が出てからでも肺がん以外の病気でも見られる症状（咳や痰など）が多く、早期発見が難しい病気です。また、肺がんは「たばこを吸う人の病気」というイメージが強く、実際に喫煙との関連が非常に大きい病気ですが、近年、日本人男性の約3割、女性の約8割の肺がんは非喫煙者に発症しています。肺がんには喫煙の影響が非常に大きいタイプとそうでないタイプがあり、喫煙以外の生活習慣や受動喫煙、環境などとの因果関係もあるので、誰もが十分にかかる可能性があります。

肺がん検診と聞いてまず思いつくのは胸部X線検査（いわゆるレントゲン）という人が多いと思います。では、「胸部CT検査」による肺がん検診というものもある事をご存知でしょうか？現在、厚生労働省が定める肺がん検診は、40歳以上の人を対象とした年1回の胸部X線検査や、痰を採取して顕微鏡で調べる喀痰検査です。しかし、これらの検査では早期の肺がんを発見するには限界があります。胸部X線検査や喀痰検査では発見しにくい、より早期の肺がんを見つげるためには胸部CT検査による肺がん検診が有効です。





管内年金友の会受給者大会 総会開催

J Aしまね西いわみ地区本部の年金受給者で組織する年金友の会は、受給者同士の親睦や交流をはかろうと、季節ごとに受給者大会やグラウンドゴルフ、旅行などを企画、開催しています。講演やアトラクションを楽しむ受給者大会や、初心者も気軽に参加できるグラウンドゴルフ大会、旅行などを通じて感動の共有、親睦と交流を深めています。

J Aでは6月から7月にかけて5つの支部が受給者大会を開きました。

6月5日は匹見支部が、会員105名が出席した大会を開きました。

16日は日原支店年金友の会が、会員150名が出席した大会を開きました。

22日は益田支部が、会員700名が出席した大会を開きました。

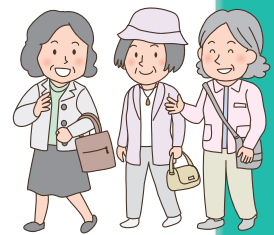
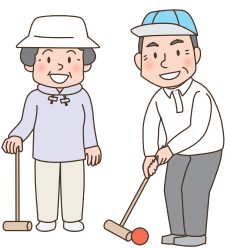
30日は柿木支店年金友の会が、会員150名が出席した大会を開きました。

7月4日は美都支部が、会員100名が参加した大会を開きました。

それぞれの大会では来賓として吉賀町岩本一巳町長、津和野町下森博之町長、J Aしまね西いわみ地区本部から田村本部長や中島副本部長を招き、あいさつをいただきました。

大会申し合わせでは、地域社会への貢献や健康管理の大切さ、仲間づくりの拡大を確認しました。

大会終了後には、アトラクションとして「劇団鹿島壽」の人情芝居を楽しみました。





日原タラの芽生産組合 通常総会開催

日原タラの芽生産組合（組合長永田寿秋）は6月26日、津和野町日原のJ A日原経済センターで第31回の通常総会を開きました。

組合員や関係機関、市場関係者ら33名が出席した総会では、平成29年度事業と決算報告および平成30年度事業計画案と収支予算案が協議され承認されました。

平成30年産取扱いについては出席組合員から、市場と連携した出荷時期と数量の的確な把握や、明瞭で迅速な事務対応等を望む声が見られ、要望として多くありました。

J Aしまね
西いわみ地区
本部田村清己
本部長は「皆さんの言葉を真摯に受けとめ、収入増に繋げる方策を講じたい」と述べました。

このほか、役員改選があり、新組合長に竹内和善さん、副組合長に永田寿秋さんが選任されました。



つわの野菜生産部会 通常総会開催

つわの野菜生産部会（部会長永田寿秋）は6月29日、同町鷲原の道の駅「津和野温泉なごみの里」で第18回の通常総会を開き、平成30年度の活動と目標を確認しました。

産直扱いの販売金額は、発足当初は4,000万円だったものの、後発の産直市との競合や部会員の高齢化による出荷量の減少などにより、近年は約3,000万円前後で推移しています。

平成30年産総販売金額目標として5,250万円（直売所4,000万円、市場向け1,250万円）を掲げ、部会員へ生産、出荷数量の拡大を図る事を確認しました。現在、産直売場がある道の駅周辺に今夏8月、建設中のバイパス道路が完成、開通するほか、平成31年3月には売場自体も拡張を含めた改装が予定されています。

永田部会長は「道路も開通し、売場も変わる。これまで以上に魅力のある売場を目指そう」と話しました。



匹見町わさび生産者組合 通常総会開催

匹見町わさび生産者組合（組合長斉藤敬）は7月2日、益田市匹見町匹見のJ A匹見支店で平成29年度の通常総会を開き、平成30年度事業計画を確認しました。

総会では、組合員数の減少により、理事の選出基準となる地区編成を見直し従来の6地区から5地区に再編する事としたほか、新しい種子の確保や実証実験の取り組みを行い、生産量の維持・拡大をめざすことや、平成30年度に東京・大田市場で開催される全国わさび品評会への出品を行う事などを申し合わせました。

このほか役員改選があり、新組合長に宮川純平さん、副組合長に斉藤佐登志さんが選任されました。





まちむらネットワーク

美都町柚子生産者組合 通常総会開催

島根県内最大のユズの生産地である益田市美都町で7月10日、美都町柚子生産者組合（組合長山根哲朗）が平成29年度の通常総会を開きました。

平成29年産は隔年結果の裏年にあたり、黄玉柚子の出荷総数量は約82トンで、豊作だった平成28年産数量約220トンを大きく下回ったことが報告されました。

J A担当者によると、平成30年5月23日に実施した着花調査では昨年以上の着花があり、今年産は平成27年産に近い約160トン程度の収量が見込めそうだとのことです。

このほか、総会終了後には県普及担当者から平成30年産ユズの生育状況と栽培管理、品質向上に向けた取り組みについての講義がありました。



J Aしまね西いわみ農産物直売コーナー 出荷者協議会通常総会開催

J Aしまね西いわみ農産物直売コーナー出荷者協議会（会長大畑秀人）は7月12日、同市駅前町益田市保健センターで平成29年度の通常総会を開きました。

同協議会は、同市あけぼの西町と遠田町のAコープ2店舗内の一角に設けられた陳列コーナーで、同会員が出荷した野菜や果物、加工品などを販売しています。

総会では、平成29年度の販売実績は他の量販店が直売所を増床した事や会員の高齢化による出荷物の減少、冬季の寒波が影響したことにより前年比5%減の約8,440万円となりました。また、店頭での感謝祭イベントの実施報告がありました。

このほか、講師に島根県農林水産部農産園芸課食の安全推進室清山浩司GLを招き、農薬の適正な使用方法等を学びました。



女性部が地元食材で大会を応援

6月22日から24日までの3日間、益田市の種地区、北仙道地区を一周する道路をコースに、約550人の選手がカテゴリー別に出場し年間チャンピオンの座を争う第87回全日本自転車競技選手権ロードレースが開催され、選手や関係者、観客ら述べ1万人が大会を盛り上げました。

スタート・フィニッシュ地点にある北仙道地区復興センターでは「おもてなし広場」と名付けた飲食店や自転車関連の出店会場が設けられました。

J Aしまね西いわみ女性部は地元産のシイタケやゴボウ、ニンジンなどをふんだんに使った炊き込みごはんや、特製うどんを作製販売しました。

来場者の一人は「炊き込みごはんがとてもおいしかった」と喜び、女性部員らは「地元のを気に入ってもらえてうれしい。天気にも恵まれて良かった」と感想を話しました。





女性部支部集会開催

JAしまね西いわみ女性部津和野支部と六日市ブロックは6月27日と30日にそれぞれ集会を開き、平成30年度の活動を確認しました。平成30年度はJA女性組織3カ年計画「JA女性 ふみだす勇氣 学ぼう・伝えよう・地域とともに！」の実践最終年となる事から、昨年にも増して共通意識を持ち、「協同」や「JA」「JA女性組織」について学習活動をすすめ、「私たちのありたい姿」の実現に向けて取り組むとともに新しいことに挑戦し、私たちの活動の基本である「食と農を基軸とした活動」「くらしをベースとした活動」の充実を図る事や、仲間意識を強くし、仲間づくりの和を広げ、一体感を持って女性部間の連携や組織基盤の強化を図る事について確認しました。

総会に先立ち、津和野支部では、講師の指導でウメを使った夏バテ予防健康料理を作り出席者全員でいただきました。六日市ブロックでは、出席者がトマトやキュウリ、新タマネギなど夏野菜を使った料理8品を作り、全員でいただきました。



「ほめられ酢」を使った料理講習会開催

JAしまね西いわみ女性部下本郷支部（支部長小方美津子）は6月30日、益田市下本郷町で、女性部員と「家の光」購読者を対象に、JA全農が販売する万能調味料「ほめられ酢」を使った料理講習会を開きました。

講習会には35名が参加し、「生ハムとキュウリの手綱ずし」「玉ねぎとハムのマリネ」や「えびとアボカドとトマトの和風サラダ」「鶏むね肉の梅照り焼き」など洋風や和風のレシピを調理しました。

「ほめられ酢」はJA全農とJA全国女性組織フレッシュミズ部会が共同開発した万能調理酢で、平成30年から全国販売する商品。お酢特有のツンとくる酸味を押さえた爽やかな風味に仕上げされており、様々な料理に使えるとのこと。

参加者の一人は「出来上がった料理は特有の酸味が無く、お酢が苦手な人でも美味しくいただけれると思う。家庭でも挑戦してみたい」と喜びました。

「ほめられ酢」は益田市あけぼの西町Aコープますだ中央店、同市遠田町Aコープラポ店のほか、中吉田町JAますだグリーンセンター、津和野町JA日原経済センター、JA津和野経済センター、吉賀町JA柿木経済センターでも取り扱っています。





西益田支店 グラウンドゴルフ大会開催

J Aしまね西いわみ地区本部西益田支店（支店長 椋木鉄也）は7月6日、益田市美都町のスポーツ施設「さくらドーム」でグラウンドゴルフ大会を開きました。



昨年引き続き2回目の開催となる今大会には同支店管内の組合員や利用者など44名が参加しました。

大会では、管内ぶどう農家が生産した「シャインマスカット」など19ケースを賞品として提供したほか、昼食にAコープ商品を使った「冷やしうどん」を用意しました。

主催した同支店椋木支店長は「雨天にもかかわらず、多くの皆さんに参加していただき大変うれしい」と感謝し、

「この催しはJA自己改革の基本目標の一つ「地域の活性化」の実践にもつながる。今後も地域の皆さんには支店活動にどんどん関わってほしい」とあいさつしました。

J A中西支店秋蒔き野菜 栽培講習会開催

J Aしまね西いわみ地区本部中西支店（支店長 村滝慎司）は7月9日と13日の両日、管内4会場ですり蒔き野菜の栽培講習会を開きました。

講師に株式会社山陰種苗から大畑整社長を迎え、秋季に植え付ける野菜の栽培方法などを教わりました。

大畑社長は、キャベツやハクサイ、ダイコンやホウレンソウ等の野菜を例に上げ、資料とホワイトボードを使って育て方を説明しました。

講義後の質疑応答では、参加者からの肥料施肥のタイミングや土壌分析の方法、産直市向け野菜の選び方等の質問に、大畑社長が丁寧に答えました。

同支店青木稔経済課長は「地域の皆さんから多くの参加をいただきうれしい」と喜び、「今後も季節ごとに講習会を開きたい」と話しました。



ケイトウ栽培圃場巡回を実施

J Aしまね西いわみ女性部（部長和田悦子）は7月19日と20日の両日、部員らが栽培に取り組む花「ケイトウ」の生育状況等の確認を行いました。

J A営農経済部や関係機関の担当者らが益田市内園地10カ所を巡回し、生育の状況を聞き今後の管理を指導しました。

ケイトウ栽培は、近隣JAの女性組織が取り組み姿に共感した部員らが平成28年に栽培を始め、今年で3年目となります。

平成29年は広島市場に出荷を行い、11,000本を出荷したほか、産直市や小売りなどにも販売しました。

平成30年産は5月末に苗を配付し、6月初旬から中旬にかけて定植したケイトウは現在、花冠の大きさはおおむね良好であるものの、茎の短いものも見られました。

7月25日には市場担当者を招き、目合せ会を行いました。





JAでは、8月より 「メガネの三城」と業務提携して 移動巡回サービスを始めました。

組合員、利用者の皆様方にはこれまでの間、ご不便、ご心配をお掛けしておりましたが、この度「メガネの三城」のご協力により、支店巡回サービスを始める事といたしました。併せてJA総合ポイントカード「おさいふカード」会員サービスの対象店舗となりました。組合員、利用者の皆様方の益々のご利用の程よろしくお願い申し上げます。
JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部経済課



こんにちは。メガネの三城の狩野です。これから、みなさまの町のJA支店へお伺いさせていただきます。メガネ、補聴器の調整やご相談などがございましたら些細なことでも大歓迎。お気軽にお立ち寄りくださいませ。

もしご自宅から外出が困難な方がおられましたら日時を調整の上、ご自宅まで訪問も致します。まずはJA窓口までご相談くださいませ。



9月の巡回日程

月	火	水	木	金	土	日
					1 仏滅	2 大安
3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負	7 仏滅	8 大安	9 赤口
10 友引	11 先負	12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝	16 友引
ラーバン 9時～14時	日原経済 9時～14時	匹見支店 9時～14時	六日市支店 9時～13時	柿木経済 9時～13時		
17 先負 敬老の日	18 仏滅	19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引	23 先負 秋分の日
24 仏滅 振替休日	25 大安	26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先負	30 仏滅
ラーバン 9時～14時	日原経済 9時～14時	匹見支店 9時～14時	津和野経済 9時～12時	六日市支店 9時～13時		



西いわみ地区本部の自己改革の取組み

☆全職員研修会を開きました。

JAしまね西いわみ地区本部では7月21日、平成30年度の1回目となる全職員研修会を開きました。接遇マナー研修と講演を催し、役職員の質的向上をはかります。

○JA役職員の接遇マナー向上を目指します。

JAしまね本店人事教育部教育研修課乾京子課長を講師に迎え、接遇マナーを受講しました。地域に根差したJAとして、組合員・利用者を結ぶかけ橋となるように、接遇マナーの必要性を再認識し、組合員・利用者から好印象を受け、親しまれる対応に努めます。



○JAへの意見・要望を聴き今後の活動に繋がります。

農事組合法人「豊郷」北條義洋代表理事組合長を講師に迎え、自組合の取り組み事例やJAへ期待することなどを拝聴しました。特に、JAへ望むこととして、◎JAの中からの「仕掛け人」の登場。◎仕事や作業への改善提案。◎営業力や対応力のある人材育成。◎自己改革実践の見える化。などの貴重な意見・要望をいただきました。

これからも自己改革実現のため皆様方からいただいたご意見を、できることから確実に実施してまいります。

9月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

西いわみ地区本部金融共済部金融課
年金相談センター (0856-22-8680) は、
平日 (8:45～17:00) いつでも
ご相談いただけます。

9月の年金相談会

13日(木)	益田支店	午後3時～午後7時	JA年金相談員
20日(木)	柿木支店	午後3時～午後7時	JA年金相談員

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

- 暑い夏 老いも若きも かき氷 (益田市 佐々木いさ子さん)
- ひと時の 涼の幸せ かき氷 (益田市 田中由貴美さん)
- かき氷 うちわにゆかた 絵になるね (益田市 渡辺美寿子さん)
- ひと口め 奥歯にしみる かき氷 (益田市 喜村 信江さん)
- かき氷 孫との思い出 宝物 (益田市 岡崎千代子さん)
- かき氷 シヤキシヤキシヤキツと おいしいね (益田市 重田 伸子さん)
- かき氷 頭もツンツン 涼湧える (益田市 豊田 昭彦さん)
- 夕涼み かき氷の音 なつかしき (益田市 柳井 文江さん)
- 夜市には 一番人気の かき氷 (益田市 梅津 穂さん)
- 山盛りの カキごうり待つ 日焼け顔 (益田市 村上登美子さん)
- 盆踊り 届けてくれし かき氷 (津和野町 高谷喜里栄さん)
- かき氷 子供喜ぶ 見える顔 (津和野町 廣田美代子さん)
- 猛暑日で 水分補給に かき氷 (津和野町 大庭 定さん)
- かき氷 味につられて もう一杯 (津和野町 石川アキヨさん)
- 真夏日の 地球を冷す かき氷 (津和野町 大井 守さん)
- 食べたいが むし歯にしみる かき氷 (津和野町 大羽 克巳さん)
- 出る汗を 止めて嬉や かき氷 (津和野町 住吉 良子さん)
- かき氷 せがんだ娘 還暦に (津和野町 板蔭 静代さん)

川柳「かき氷」の投稿数 津和野町10通、吉賀町0通、益田市17通

お題「かき氷」



10月のお題は「彼岸花」です
ご応募お待ちしております



川柳応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 平成30年9月10日 (当日消印有効)
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課



西いわみ地区本部からのおしらせ

第6回

JAしまね 西いわみ地区本部 組合員 親睦ゴルフコンペ

開催

日時 平成30年10月13日(土) 午前7時00分受付開始
午前8時00分からOUT・IN同時スタート
30組(約120人)予定

場所 萩・石見カントリー倶楽部
山口県萩市大字下田万897番地
TEL 0838-73-1100

参加料 1人2,000円 (当日徴収)

参加方法 最寄りの各部・支店に下記申込書を提出下さい。
原則4人1組でお申し込みをお願いします。

申込締切日 9月21日(金) 定員になり次第締め切り。

ルールおよび賞
①ダブルペリア方式
②優勝、準優勝、飛び賞、ブービー賞、ドラコン・ニアピン賞他多数用意
③参加者全員に参加賞贈呈
④プレー代・食事代は各自でご精算ください。

結果報告 表彰式無し。後日参加者全員に結果表、該当者に各賞をお送りします。

お問い合わせ先 企画総務部・ふれあい課
TEL 0856-22-1585 FAX 0856-23-0788
E-mail:fureai.niw@ja-shimane.gr.jp

10月13日 (土)

萩・石見カントリー倶楽部

申込締切

9月21日 (金)



キリトリ

第6回 JAしまね 西いわみ 組合員 親睦ゴルフコンペ 参加申込書

	名 前	住 所
1		〒
2		〒
3		〒
4		〒

平成30年産米出荷袋の書き方について

袋口印刷

年産を記入してください。

検査証明書

荷造り、包装及び左記の事項を証明する。

〇〇年産 種類 水稻うるち玄米

銘柄 島根県産

正味重量規格

30kg

皆掛重量

30.5kg

★混合米又はわからない場合は、**その他**とする。

★規定の品種名を正しく記入してください。

ひらがな→ひらがな
カタカナ→カタカナ
漢字→漢字
のように左記の品種欄通りに記入し、略称やあて字等は使用しないで下さい。

島根県産銘柄品種欄

- ★該当の品種名を記入してください。
(うるち) コシヒカリ・きぬむすめ・ハナエチゼン・ヒノヒカリ・つや姫
(もち) ヒメノモチ・ココノエモチ・ヤシロモチ・ミコトモチ
(酒米) 五百万石・改良雄町・佐香錦・神の舞
- ★上記以外の品種の場合は記入しない。

検査請求者記載欄

- ★検査請求者欄は、生産者の氏名を記入する。
- ★検査請求者の住所欄は、生産者の住所を記入する。
- ★生産地欄は、生産された場所を記入する。

検査請求者
住所 島根県〇〇市〇〇町
代理人 島根県農業協同組合
住所 島根県松江市殿町
生産地 島根県〇〇市〇〇町
品種名 ()

(袋の結び方)

- ★裏口をそろえ裏側に3回折り曲げる。(青線が真上にくる)
- ★両端10cmの所(折り曲げ線)で中央に折り曲げ、真結びする。

生産履歴台帳の記帳及び提出について (お願い)

生産基準に基づく安全な農産物づくりと記帳を通じて、「安全・品質」に関する情報を消費者に伝えること、これが生産履歴台帳の記帳の意義です。

JAは消費者に「安全・安心」なお米を提供し、有利販売のために、生産履歴台帳の記帳運動を展開し、JAが取り扱う米を「JAしまね米」と「一般米」に区分して生産販売に取り組んでいます。生産履歴台帳の記帳は、手間のかかる作業ですが、ご理解いただきご協力をお願いします。

(記入上の注意点)

- 各品種ごとに生産履歴をご記入ください。ただし、使用資材(肥料、農薬)が異なる場合は、圃場ごとに記入をお願いします。
- 記帳については、記入例を参考にしてください。
- 生産履歴台帳の用紙が不足の場合は、お手数ですが、最寄りのJAでもらってください。
- 生産履歴台帳の提出は、収穫後に紙袋で出荷の方は出荷申込み時に、カントリー及びライスセンターご利用の方は搬入前に必ず提出してください。**

「JAしまね米」の定義

「JAしまね米」とはJAと売渡委託契約(出荷契約)を締結した生産者が生産し、JAに出荷した米穀であり、下記の要件を満たす米穀であります。

- 1) 銘柄が確認できた種子により栽培された米穀(種子更新)
- 2) 登録検査機関で検査された米穀
- 3) 生産基準に基づき栽培され、生産履歴記帳された米穀

なお、「JAしまね米」と「一般米」では価格差があります。

*** 生産履歴台帳は、秋にご提出ください。**

問い合わせ先 JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部米穀課 及び 各支店

〈JA栽培管理記録〉

記載例

生産履歴記入用紙提出期限: 出荷申込日に出荷申込用紙とともに提出してください。

JA栽培管理記録		生産日誌		平成30年産		JA名 島根県農業協同組合 西いわみ地区本部							
【生産者】 営農 太郎		【住所】 益田市中西田町1000		【品種名】 コシヒカリ		【栽培面積】 30 a 【筆数】 3 筆							
① 作業日誌		② 施肥日誌		③ 防除日誌									
作業名	番号	実施月/日	区分	番号	肥料名	施肥月/日	施用量(kg/10a)	剤種	番号	農薬名	使用月/日	使用量(10a)	
播種	01	5/5	つくり	007	堆肥	12/20	1000 kg	箱剤		嵐ブリンス箱粒剤10	5/25	50 g/箱	
代かき	02	5/2	つくり	002	ミネラルG								
田植開始	03	5/25	追肥	012	鳥コシ化成1号	5/20	15 kg	箱剤	060	テラルコトワックアクタ1キロ粒剤			
中干	04	6/25	追肥	013	鳥コシ化成2号				046	シング乳剤			
穂肥	05	7/17	追肥	014	増加安44号				014	エリジャンジャンボ			
穂肥	06	7/26	追肥	063	セラコートRワン				063	テラガード1キロ粒剤			
収穫開始日	00	9/9	追肥	067	米育一発				096	マメットSM1キロ粒剤			
			追肥	080	けい酸加里(粒)	7/1	20 kg	殺虫剤	036	コラップ粒5			
			追肥	046	尿素入増加安V550	7/17	10 kg	殺虫殺菌剤	107	ラブサイドスタークル粉DL	8/10	4 kg	
			追肥	047	鳥コシ化成1-2	7/26	10 kg	殺虫殺菌剤	080	ヒノラブハイジツ粉35DL			
			追肥	045	味種			殺虫剤	048	スタークル粉剤DL	8/18	4 kg	
					苦土重焼燐	5/20	10 kg						
② 栽培・生産概要 ~ その他分析マスタ													
種子更新	01	1	①: 全部した ②: 3: しない					実施日、10アール当たりの施用量・使用量を記入して下さい。印字してある農薬を使用の場合は、農薬名の前の欄に✓印を記入して下さい。印字外の肥料・農薬がありましたら、印字下の空欄に名称を記入し、実施日、施用量・使用量を記入して下さい。					
育苗様式	02	1	①: 自家育苗 ②: 苗購入					名前・住所を記入し、品種名を記入してください。					
初播り	03	2	①: 施設 ②: 自家					名前を記入し、押印してください。					
乾燥	04	2	①: 施設 ②: 自家										
生産者名 営農 太郎		電話番号 ()		記載内容検証: 生産		月 日		月 日		印			

平成30年産米 検査計画

2018年 9月

倉庫 (検査場所)	支店・地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
双葉	益田東支店							○							○							○							○				
	津田地区							○							○								○							○			
	種地区			○							○							○								○							
	北仙地区																		○							○							
	鎌手地区								○														○							○			
	中西支店					○								○									○						○				
	二条地区															○								○						○			
	小野地区					○								○									○						○				
中吉田	高城地区			○																													
	駅前地区	○								○																							○
	吉田地区	○								○																							○
	高津支店	○								○																							○
	益田支店	○								○																							
豊川地区	○								○																								○
美濃地	美濃地区					○							○									○							○				
横田	西益田支店						○							○									○						○				
波田	真砂地区				○							○											○					○					
美都RC	美都支店															○							○										○
匹見	匹見支店			○																													
道川	匹見支店			○																													
山下	津和野支店			○			○					○											○					○					
鷺原	津和野支店			○			○					○											○					○					
日原	日原支店	○							○																								○
柿木	柿木支店				○								○										○					○					
七日市	六日市支店						○							○									○						○				
吉賀運送	六日市支店				○								○										○					○					

2018年 10月

倉庫 (検査場所)	支店・地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
双葉	益田東支店					○						○																						
	津田地区					○						○																						
	種地区	○										○																						
	北仙地区	○										○																						
	鎌手地区					○																												
	中西支店			○									○																					
	二条地区					○							○																					
	小野地区			○									○																					
中吉田	高城地区	○										○																						
	駅前地区						○																											
	吉田地区						○																											
	高津支店						○																											
	益田支店						○																											
美濃地	美濃地区			○									○																					
横田	西益田支店			○									○																					
波田	真砂地区		○									○																						
美都RC	美都支店					○							○																					
匹見	匹見支店	○									○																							
道川	匹見支店	○									○																							
山下	津和野支店	○			○						○																							
鷺原	津和野支店	○			○						○																							
日原	日原支店						○																											
柿木	柿木支店			○								○																						
七日市	六日市支店			○								○																						
吉賀運送	六日市支店	○																																

※8月の検査日程は以下のとおりです。

○双葉倉庫：8月24日(金)、30日(木) ○鷺原倉庫：8月28日(火) ○山下倉庫：8月29日(水)

○検査に係る費用単価については、1袋30kgあたり税込み 検査手数料/37.8円 受検費用/108円 集荷運賃/129.6円 米備抛出金/12円となります。

○米袋の銘柄・品種名欄には、「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」「神の舞」「佐香錦」「ヒメノモチ」「ミコトモチ」等 ひらがな・カタカナ・漢字に注意して産地品種銘柄で記入して下さい。

○紙袋出荷について、玄米皆掛重量が「30.5kg」に変更になりますので、袋詰めの際にはご注意ください。

畜産



7月の子牛市場

7月18日(火)に雌42頭、去勢64頭、計106頭の上場により、西部家畜市場が開設されました。平均価格が雌611千円(前回比103%)、去勢729千円(前回比92%)、計681千円(前回比99%)と、上場頭数がすくなくったこと、全国的にも相場の下落が続いていることから、去勢が61千円安と大きく値下げしたものの、雌は発育等がそろっていたため前回比17千円高とやや値を上げ、平均価格で前回比8千円安と小幅な値動きとなりました。

次回の市場開設日は9月18日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に暑熱対策等おこない、愛情を持って管理をしていただくようお願い致します。

7月西部子牛市場成績(税込み) (単位:円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市(益田)	雌	26	855,360	642,240	629,225	282
	去勢	36	881,280	225,720	738,360	304
	計	62			692,594	295
益田市(美都)	雌	1	692,280		692,280	311
	去勢	1	612,360		612,360	275
	計	2			652,320	293
益田市(匹見)	雌	0				
	去勢	2	759,240	602,640	680,940	288
	計	2			680,940	288
津和野町(津和野)	雌	2	563,760	475,200	519,480	278
	去勢	2	702,000	668,520	685,260	306
	計	4			602,370	292
津和野町(日原)	雌	4	717,120	615,600	672,570	326
	去勢	4	765,720	712,800	734,400	332
	計	8			699,069	328
吉賀町(柿木)	雌	1	542,160	542,160	542,160	287
	去勢	2	759,240	388,800	574,020	319
	計	3			563,400	308
吉賀町(六日市)	雌	0				
	去勢	2	676,080	676,080	676,080	286
	計	2			676,080	286
西部市場 総合計	雌	42	855,360	451,440	610,637	288
	去勢	64	881,280	225,720	728,808	303
	計	106			681,085	297

益田グリーンセンター

秋の大感謝セール開催

日時 9月14日(金) 9:00~17:00

9月15日(土) 9:00~15:00

みなさまのご来場をお待ちしています。

経済課より

JALしまね

シロアリ無料調査実施中!!

お客様のご大切な財産をお守りいたします

こんなお宅は要注意

- 建物の周囲、庭先に古材がある家
- 庭先でシロアリを見た家
- 雨漏り・トイが傷んでいる家
- 羽アリが何匹か舞い込んだ家
- 近くに山がある家

私たちが伺います
=(株)コダマサイエンス社員=

中川 徳行 三浦 定

お問い合わせ先 JALしまね 西いわみ地区本部 経済課 ☎0856-23-0914

取扱業者 (株)コダマサイエンス 益田市三宅町3-37 益田営業所 ☎0856-22-5390



西いわみ地区本部からのおしらせ

JA巡回人間ドック

H30年度もJA巡回人間ドックを実施します!

日帰り人間ドックを
ご近所で!
短時間で
受けることが
できます!



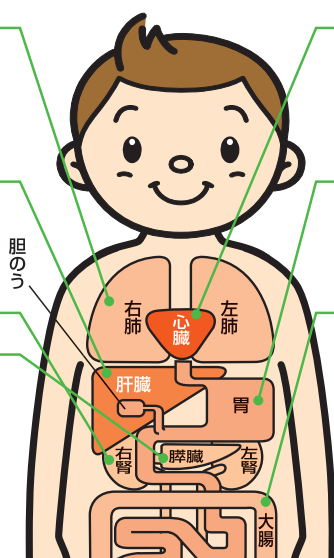
日程	会場	定員
10月31日(水)	日原経済センター	各会場 とも 30名
11月1日(木)	ふれあいホールみと	
11月2日(金)	益田東支店	
12月7日(金)	中吉田出張所	

検査内容

呼吸器
胸部X線検査で結核・肺がんをはじめ肺疾患の有無を調べます。

肝臓
肝臓病・胆道系の疾患の有無を調べます。

腎臓
脾臓
腹部超音波検査で腫瘍等の有無を調べます。



循環器
心電図・血圧測定で不整脈・虚血性心疾患等の有無を調べます。

消化器
胃透視・ペプシノゲンで胃の状態を調べます。

大腸
便潜血検査で大腸からの出血の有無を調べます。

脂質検査
コレステロール等、血液中の脂質の濃度を調べます。

血液一般
貧血や炎症等の有無を調べます。

その他
身体計測
眼底・眼圧・聴力
骨密度測定
前立腺 (PSA) 検査

健康のためにもぜひ、検診を受けましょう!



「JA総合ポイントカード」を提示するとポイントが付与されます。(当日、本人のみ)

お問い合わせ

JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課まで
TEL 0856-22-1585 FAX 0856-23-0788





おいしくて形の良い ダイコン作り のポイント

板木技術士事務所 ● 板木利隆

ダイコンは、強大な根を速いスピードで地中に形成するので、根形や品質が土壌や肥料栄養の影響を受けやすい性質を持っています。

そのためには、次のポイントを押さえて育てることが大切です。

(1) 畑の準備と元肥の施し方

少なくとも種まきの20日以上前に畑全面に石灰をまき、石ころや木切れなどを取り除きながら30cm以上の深さによく耕します。吸肥力は強い方なので、前作に堆肥が施してあれば、特に堆肥を与える必要はありません。

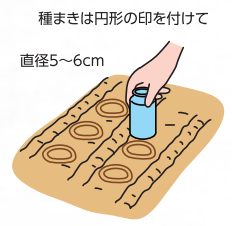
瘦せ地で有機物不足が心配なら、完熟堆肥と有機配合肥料をよく混ぜ合わせ、事前に醗酵させた物を、株と株の間に当たる所に施し、根の伸びを妨げないようにします。

(2) まきどきを守る

早まきし過ぎると病害虫の被害を受けやすく、遅過ぎると根の肥大不足になります。関東南部以西の温暖な平たん地のまきどきは8月中旬～9月中旬です。品種による違いもあるので、種子を求めるときに適期を確かめ、適期範囲のやや遅めにまき、管理を入念にして成長を促進するよう心掛けましょう。

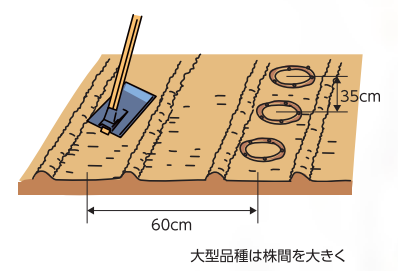
(3) 間引きと追肥、入念な土寄せ

種子は1カ所5～6粒を、瓶などで円状に付けた溝にまきます。発芽して本葉1枚の頃から8～9枚の頃にかけて3回ほど間引き1本立てにします。間引く際には、子葉がハート形で素直に開いている株を残すようにします。異常に育ちの早い株や、形が非対称の株は、岐根や短形



になる場合があるので残さないよう注意しましょう。

間引いたら株の周りに土を寄せ、風で振り回されないように保護し立ち上がらせます。追肥は第2回の間引き時から半月ごとに3回ほど与え、土を掛けて畝を作ります。肥料は化成肥料と油かすに加え、米ぬかを混ぜると食味が良くなります。



(4) 害虫の予防、駆除を怠りなく

アブラナ科野菜の常として各種の害虫（シンクイムシ、コナガ、アブラムシ、ハスモンヨトウなど）の被害が出やすいので、早めに発見、適応農薬を散布して防ぎます。

農薬に頼らない防除法としてはソルゴーを何列か置きに作り障壁にすること、防虫ネットやべた掛け資材の被覆などがあります。被覆は種まき後3週間以内ぐらいにししないと生育に支障を来すので、除覆する時期に注意してください。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ
優待割引のお知らせ



JALしまね ×



メガネの三城

メガネ一式
10%OFF!!

補聴器
5%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 島根県内メガネの三城全店 ※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JALしまね 本店経済部生活課 [TEL] **0853-25-8907**

農業技術センターフェア

2018

～島根が魅せる、農業の‘いま’と‘みらい’～

[と き] 9月15日(土) 9:30~14:30

[と ころ] 島根県農業技術センター (出雲市芦渡町2440)

研究展示・セミナー

- ・メロンやブドウの育種、自家製発酵有機肥料等についてのセミナーと試食
- ・新技術等のパネル、現物展示、研究ほ場見学、栽培技術相談
- ・玄米の食味値測定 (1人2点まで: 1点につき玄米200g)

農産物・加工品販売

- ・職員が丹精込めて作った果物、野菜、花等の販売
- ・地域の特産物販売
- ・農福マルシェ (福祉事業所の製品)

お楽しみイベント

- ・野菜収穫体験
- ・ビンゴ大会、クイズラリー、キッズコーナー
- ・農業女子農作業服の展示
- ・出雲農林高校太鼓部の演奏、ふれあい動物園

■お問合せ■

☎0853-22-6708 島根県農業技術センター

- ・JR 西出雲駅から徒歩10分
- ・国道9号線渡橋交差点から車15分



謹んで豪雨災害のお見舞いを申し上げます

この度の大雨により被害を受けられました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下正幸

島根産まれの食材レシピ

しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

トマトカレー



水を入れずトマトの水分のみで作るカレーです。トマトから水分が出るように弱火で煮込みます。いつものカレーにトマトを入れるだけで甘みと酸味がプラスされてとっても美味しいです。

●材料（4人分）

米	2カップ	チリペッパー	小さじ1~
鶏もも肉	1枚	ターメリック	少々
玉ねぎ	2個	ガラムマサラ	小さじ少々
トマト	4個	カレールウ	4皿分
にんにく	1かけ		
サラダ油	大さじ1		

●作り方

- ①鶏肉は一口大に切り、塩、コショウをする。
- ②玉ねぎは千切りにする。トマトは皮を湯むぎにし、1cm角に切る。にんにくはみじん切りにする。
- ③鍋に油を入れ、にんにくを入れ香りが出たら、玉ねぎを入れて炒める。
- ④鶏肉も入れ炒める。
- ⑤鶏肉に火が通ったらトマトを入れて炒め、弱火にしてフタをして煮込む。（好みにより、チリペッパー、ターメリック、ガラムマサラを入れる）
- ⑥トマトが煮崩れ、水分が出たらカレールウを入れる。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は簸川平野の稲刈り風景です。簸川平野は、主に斐伊川が運んだ土砂などが堆積してできた沖積平野で、肥沃で平らという特徴から、山陰でも有数の穀倉地帯として知られています。早いところでは8月に稲刈りが始まり、夏の入道雲と簸川平野の代名詞ともいえる築地松が相まって、当地特有の風景を見ることができます。

編集後記

県内の多くの小学校では、JAが主催する「みどりを守る児童画コンクール」への出品を、夏休みの宿題の一環で取り入れていただいています。夏野菜の収穫や、おじいちゃんの畑仕事をお手伝いする様子など、素敵な夏を過ごしたことが伝わる絵ばかりで、私の毎年の楽しみです。今年はどんな夏だったかな？（和）

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

